

平成18年11月28日 第13号

発行：東京二十三区清掃一部事務組合

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号

TEL 03-6238-0615 FAX 03-6238-0620

東京二十三区清掃一部事務組合は、
循環型社会の形成を目指しています。

<http://tokyo23.seisou.or.jp/>

新管理者就任のあいさつ

～気持ちを新たに～

平成18年9月15日付けで、5代目の管理者に就任した大田区長の西野善雄です。

前任の高橋久二前品川区長が逝去されたことに伴う突然の就任となりました。

高橋前管理者は、平成15年11月の区長会で確認された「特別区における中間処理は、平成18年4月以降も当分の間、東京二十三区清掃一部事務組合による共同処理により行うのが望ましいと考える。その際、清掃一部事務組合の抜本的な改革を行い、効率的・効果的な運営を図るべきである」との方針を受け、具体的な取り組みの道筋を示す、「経営計画」「経営改革プラン」及び「一般廃棄物処理基本計画」を18年1月に策定されました。その成果を見届けることができず、大変残念なお気持ちであられたと思います。私は、その遺志をしっかりと受け継いでいきたいと思っています。

また、私にとっては、清掃一組設立時以来、2度目の管理者就任となります。前回は、平成12年4月から翌平成13年5月までの1年余りでしたが、当時は事業が区に移管された直後でもあり、23区から負託されたごみ



管理者 西野 善雄（大田区長）

の中間処理を住民の方々に決して迷惑をかけることなく、着実にを行うべく、幹部や職員みなさんと様々な課題や問題乗り越えて進んだ思い出があります。当時と比べ、地球温暖化などの環境問題、また、安全な工場運営などへの区民の関心や意識は更に高まっています。これまでも、経営委員会委員として清掃一組経営に携わってまいりましたが、より責任の重い立場となり、23区、そして区民の方々の更なる期待に応え、また、大都市東

京のごみ処理を担う者として、地球環境を視野に入れた循環型社会形成への使命を果たしていきたいと強く感じています。

～ 効果的・効率的な組織経営～

清掃一組の改革に当たっては、安全・安定の上に立った「効果的・効果的な運営」が重要であると考えています。経営改革を進め、各区の財政負担、ひいては住民の負担を極力軽減するよう努めなくてはなりません。そのためには、従来の発想にとらわれない創意工夫が求められます。

現在進めている清掃工場の運転業務のアウトソーシングや東京ガスとの合併事業は、その具体的な取り組みの一つです。こうしたことにより事業効率を高め、経営改革を実効性あるものにするためには、不断の研究、見直しが不可欠であると考えています。

～ 清掃技術の継承と 実行力ある職員の育成～

清掃工場や不燃ごみ処理センター、灰溶融施設などの運営は、区民生活の基本を支えていることに加え、公衆衛生・環境・健康などへの影響が大きいことから、常に安全で良好な状態で維持管理することが必要です。また、一般廃棄物処理基本計画の基本目標である「資源・エネルギー回収の徹底」「環境負荷の低減」「最終処分量の最小化」や経営改革への取り組みを進めていかななくてはなりません。

技術職員の多くが都に戻り、団塊世代の大量退職が見込まれる中、清掃技術の維持・継承を図るとともに、循環型社会や環境問題に

関する幅広い知識はもとより、コスト意識を持ち、住民満足度にも十分配慮しスピーディーに判断し、行動できる職員の育成が、職種を問わず重要です。

～ 23区との連携強化～

23区の清掃事業は、それぞれが独自性を持ち各区の実情に応じて展開されていますが、収集・運搬を区が、中間処理を清掃一組が担っていることから、収集・運搬から処理・処分までのスムーズな流れやごみの発生抑制への住民理解を深めていくことなど、どれをとっても各区と清掃一組の連携が不可欠です。また、平成20年度のサーマルリサイクルの本格実施、手数料改定の検討など、23区と清掃一組の緊密な連携が更に求められます。

今後もきめ細やかで緊密な連携体制を築いていきたいと考えています。

～ 技術や経験を活かし 新しいチャレンジを～

大田区は工場の多いまちです。私自身、区政運営を通じ、現場で受け継がれた技術や経験の尊さを日々感じています。町工場においては、技術や経験を現代の社会や生活により受け入れられる形にしていこうと、大学や企業とも連携した新しいサービスや商品を生み出すといった試みがなされています。

清掃一組においても「工場」現場で築かれた技術や経験を大切に、23区との連携のもと、変化の激しい時代に力強くチャレンジする組織経営に努めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。